



発行所
 日刊自動車新聞社
 東京都港区芝大門1丁目10番11号
 購読料 1カ月5343円+税
 電話 東京(03)5777-2351代表
 ©日刊自動車新聞社2019

6月14日
(金曜日)

変化への挑戦

58

オーハシテクニカは、ファブレスメーカーとして戦略的グローバルでの生産体制も強調達の推進と自社の製造機能強化する。金属加工の新技術やの強化の両輪で事業展開を進め、独自加工技術の適用部品の拡大に向けた開発にも力を入れている。主要納入先の日系

オーハシテクニカ



しばさき まさきの
柴崎 衛社長

る。(村上 貴規)

―足元の動向は

「米中の貿易摩擦や英国の欧州連合離脱問題などリスクが存在している。中国経済の悪化による需要減少や、北米の伸び悩みで生産と利益の両面に影響が出ている。欧州ではの戦略的調達の三つの基本方針は不変で、社内では2021年度に売上高500億円とする目標を共有している」

―売上高100億円を現状からどのように増やすのか

「自社グループの製造機能を強化する。国内製造子会社に引き上げる」

―独自加工技術の適用拡大

「また、資本提携先の設備投資なども支援し、グループ全体で生産体制の強化を図っていく。22年度までに売上高に占めるグループ製造部門の比率は現状20%から40%に引き上げる」

「また、市場調査の専門組織を中心として加工技術の市場ニーズの把握に努めている。例えば、電動化で搭載数が増えるモーターに適用できる技術がないか探っている。モーターは需要の拡大に伴い、リードタイムの短縮が求められる。そうした課題に対して切削レスのプレスや圧造加工の技術を生かしたい。今後用途の拡大に向けた開発は推進していく」

―自社で開発・製造機能を強化している。調達先との関係は薄まるのか

「メーカーなどが求めるニーズは多様化している。自動車の世界生産台数もますます増加する。こうした需要をカバーするためには必須の存在と捉えている。多種多様な品ぞろえで他社との差別化にもつながる。調達先各社が持つ特有の技術などへのニーズの高まりや今後のビジョンを共有することができれば、資本提携などで互いのパイプは太くなる」

自社グループの製造機能拡充

は日系メーカーの英国での生産縮小・撤退もあり、英国事業の継続性や欧州大陸でのビジネスの可能性など市場調査を進めている。世界経済の先行きは不透明だが、開発・製造機能の強化と海外生産の拡大、ファブレスメーカーとし

の鈴鹿工場では生産能力の増強や自動化による効率化を進め、第2工場の建設計画も今年度中には固める。米国と中国、タイの主要海外拠点でも冷間圧造や精密切削、精密プレスなど国内と同様の生産体制を整備して新たな受注につ

「金属同士を接合する『圧入プロジェクト』技術を提案している。この技術は溶接よりもつなぎ目の強度が高く、コストメリットもあり、適用部品のコンパクトな設計も可能にする。トランスミッ

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。